

令和7年10月号

鹿浜こども園だより



令和7年10月1日
足立区立鹿浜こども園

第一園舎 Tel.3855-4447

足立区鹿浜 5-25-11

第二園舎 Tel.3897-8515

足立区鹿浜 5-24-4-101

園長 澤田 好

今年の夏が猛暑だったので、秋はまだまだか
と思っていましたが、さわやかな秋風が吹き抜
け、体を動かすことが心地よい季節になりまし
た。

園でも、子どもたちが元気いっぱい体を動
かす姿があちこちで見られています。

第二園舎のひよこ組、りす組の子どもたちは、
マットや段差に挑戦し『できた！』という喜びを
味わっています。うさぎ組、ぱんだ・こあら組、
ぞう・きりん組は、4日の運動会に向けての活動
も多くなり、かけっこや表現遊び、力を合わせる
競技などを通して、友達と心を一つにする経験
を重ねています。小さな体での挑戦や工夫の積
み重ねが、筋力やバランス感覚だけでなく、自信
や意欲、そして仲間と関わる力を育てています。

運動会当日は、その成長の姿を保護者の皆様
と分かち合えるひとときでもあります。当日は、
結果だけでなく『挑戦する気持ち』や『やりきっ
た表情』『これまでの過程』にぜひ目を向けてい
ただければと思います。

子どもたち一人ひとりの歩みを共に喜び合い
ながら、心も体も健やかに育つことを願ってい
ます。

園長 澤田 好

《お月見》10月6日（月）

～お月見の由来～

たくさんのおいしい食べものが食べられることへ
の「ありがとう」の気持ちと、これからもおいしい食
べものが食べられますようにという「願い」を込めて
お供えをします。

当日は、子どもたちと一緒に団子を作って、お供
えをしたいと思います。

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ
やさしいところ
かんがえるちから
心豊かで たくましい
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」
を育てる

【行事予定】

10月	
1日（水）	都民の日（短時間4・5歳児休日）
2日（木）	内科健診（第二）13:00～ 安全指導
4日（土）	運動会（3・4・5歳児）
6日（月）	お月見
7日（火）	運動会振替（4日に実施した場合、 短時間4・5歳児休日）
11日（土）	運動会雨天時予備日
14日（火）	運動会振替（11日に実施した場合、 短時間4・5歳児休日）
16日（木）	避難訓練（第一） 内科健診（第一）13:00～
20日（月）	身体測定
22日（水）	開園記念日（短時間4・5歳児休日） 避難訓練（第二）
27日（月） ～11/7（金）	保育参観・参加（1・2歳児）
28日（火）	ぶんぶく劇場（3・4・5歳児）

11月	
4日（火）	安全指導
13日（木）	バス遠足（4歳児）
19日（水）	避難訓練（消防署合同訓練）
20日（木）	身体測定
27日（木）	生活発表会（5歳児）

《開園記念給食》10月21日（火）

こども園の開園記念日を祝い、子どもたちの好きな
メニューとケーキをいただきます。

～献立～

ご飯

鶏肉の唐揚げ

春雨サラダ

すまし汁

お祝いケーキ



ADACHI CITY



〈ひよこ組〉

体操が好きな子どもたちから、CDデッキを指さしたり体操のポーズをしたりして踊りたいことを教えてください。体を揺らしたり、足を上げたり、保育者の動きを見て真似したりすることを楽しんでいます。

子どもたちの思いを大切にしながら、リズムに合わせて踊ったり、体を動かしたりする楽しさや面白さを感じられるようにしていきます。



ねらい

- ・保育者と一緒に秋の自然に触れながら、たくさん体を動かして楽しめるようにしていきます。
- ・保育者に身振り手振りや自分なりの言葉を使って、気持ちを伝えられるようにしていきます。

〈りす組〉

ホールで遊びを楽しんでいる中で、友達と一緒にブロックやマットを組み合わせて遊ぶことが増えています。友達とウレタン積み木を使って家を作り、「こっちが入口だよ。ピンポンしないと入れないよ」「わかった。ピンポン」「どうぞー」と言葉を使ってやり取りをしながら遊んでいます。

自分の思いを言葉で表現できるようになってきている子どもたちが、友達と会話をしながら遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。



ねらい

- ・身近な自然物を使った遊びを楽しめるようにしていきます。
- ・保育者や友達との関わりの中で、自分の思いや欲求を言葉で伝えられるようにしていきます。

〈うさぎ組〉

ホールでビームやはしご、巧技台、トランポリン、フープなどを使い、走る、跳ぶ、渡る、くぐるなど様々な動きを取り入れながら遊んでいます。ビーム遊びひとつでも、上を立って渡る、座って腕の力で進む、下をくぐるといったように1つの物でも違った動きで遊ぶことを楽しむ姿も見られます。

自分でできることが増え、自信をもって取り組み、保育者に知らせてくれる姿が見られます。



様々な体の動きを楽しんでいます。

くぐったり
くっついたり…

ねらい

- ・保育者や友達と一緒に体を動かす楽しさを感じられるようにしていきます。
- ・着替えやその始末など自分でできるように見守ります。

〈ぱんだ・こあら組〉

巧技台を使って身体を動かしていると、「難しくてできない」と困った表情を浮かべる子がいます。そんな時には、「手伝うよ!」「こうやったらできるよ!」と手を差し伸べる姿が少しずつ出てきている子どもたちです。

また、友だちと一緒に遊ぶ中で、自分の想いが友だちに伝わると、心地よさを感じ笑顔が増え、仲が深まっています。

引き続き友だちと一緒に遊んだり協力したりしていく中で、仲間関係を深めていきます。

友だちとイメージを共有し、一緒に遊ぶ心地よさを感じています。



友だちと協力すれば、できると実感しています。



ねらい

- ・遊びや生活のなかで、困った時には友だち同士で協力し合い、自信をつけたり仲間関係を深めたりしていきます。
- ・友だちと一緒に遊ぶ心地よさを感じながら、イメージを共有し遊びを広げていきます。

〈ぞう・きりん組〉

9月22日は待ちに待ったお楽しみ会でした。食材の買い物に行き、自分たちで決めたメニューを調理して食べる経験をしました。

様々なことを決めるときには、サークルタイムで何度も話し合いました。話し合っていく中で、自分の意見が通らないことがでてきて考え直したり、友達の意見に賛成したりと、少しずつ折り合いをつけることを経験しています。保育者も相手の気持ちを受け入れようとしている様子を認め、友達と一緒に活動を作っていく過程を大切に、保育をしています。

楽しい経験を経て、友達とのかかわりが大きく広がっていると感じています。



包丁で玉ねぎを切ったよ!

餃子の皮がおいしそう! 早く焼けないかなあ。



ねらい

- ・サークルタイムなどを通して、相手の思いを聞いたり、少しずつ折り合いをつけたりして、受け入れようとする経験をします。
- ・友達とイメージを共有して、自分達で遊びを進められる楽しさを十分に感じられるようにします。

夏の間に、おうちの人と経験したお祭りから「たこやきつくりたい」「かきごおりもあったよ」と作りはじめました。そこで5歳児がホールでおまつりごっこを行い、3、4歳児を招待しました。

5歳児は、お店屋さんになりきり呼び込みをしたり、品物を渡したりします。3、4歳児は品物をもらって、「どこで買ったの?」「おいしいよ」と教え合う姿がありました。異年齢の関わりを通し、経験したことを表現したり伝えたりすることを楽しんでいます。

引き続き異年齢の友達と伝える、伝わる喜びを感じられるようにしていきます。



3歳児の目線に合わせて聞いたり渡したりしています。

どれがいいですか?



ねらい

- ・異年齢での関わりを通して、伝える・伝わる喜びを感じられるようにしていきます。
- ・相手の思いや気持ちを知り、自分の気持ちを言葉で伝えられるようにしていきます。